中国の文化IX 第４回

春秋戦国時代

儒教の誕生

これは法政大学の総長であった大内兵衛（一八八八～一九八〇）が、大学での学問のあり方を学生に伝えるために書き残した、ある書物の一節である。この書物とは何か？

？

論語註疏解經卷第一

魏何晏集解

宋邢昺疏

學而第一

疏 正義曰自此至堯曰是魯論語二十篇之名及第次也當第子論撰之時以論語爲此書之大名學而以下爲篇之小目其篇中所載各記舊聞意及則言不爲義例或亦以類相從此篇論君子孝弟仁人忠信道國之法主友之規聞政在乎行德曰禮貴於用和無求安飽以好學能自切磋而樂道皆人行之大者故爲諸篇之先既以學爲章首遂以名篇言人必須學也爲政以下諸篇所次先儒不無意焉當篇各言其指此不煩說第順次也一數之始也言此篇於次當一也

子曰學而時習之不亦說乎 注 馬曰子者男子之通稱

中国では、草の根的な儒教教育が復活している。全国に「学堂」と呼ばれる私塾が一〇〇〇校前後開かれ、孔子の生涯を描いた映画やテレビドラマも作られている。

なぜいま儒教なのだろうか？

朝日新聞　２００６年５月５日　朝刊　４ページ　東京本社

儒教 復権

中国で「封建主義の道徳」と批判された儒教が復権、市民生活に定着しつつある。孔子の「論語」を音読する子ども向けの塾は花盛り。ビジネスマンの儒教教室も人気だ。急速な国際化や経済成長が中国人としての自己意識を求めさせる。とはいえ、格差の拡大や拝金主義の横行には不満が強い。国民をまとめる思想を探る当局の思惑もかいま見える。（南京〈中国江蘇省〉＝塚本和人）

中国、塾や教室続々

ベビーカーの「生徒」も

「子曰、学而時習之、不亦説乎」（子曰わく、学んで時にこれを習う、またよろこばしからずや）

明などの都として栄えた南京。毎週土曜日の午前、中心部の鶏鳴寺境内に論語の一節を読む大きな声が響く。小さな講堂に机が並び、壁には孔子の人物画＝写真＝がある。5～6歳の幼稚園児約30人が親と並んで座り、唐代の古典音楽の伴奏で歌うようにリズムをつけて音読していた。1日2時間で2段落を暗記させる。

昨年3月、南京航空航天大学の講師で哲学を教える戴伝江さん(38)のグループがボランティアで始めた。幼稚園の先生らと指導法を考え、教科書は手作りだ。学費は無料。文字を教えることから「論語」「大学」「中庸」まで年齢別に5クラス。1歳から13歳まで約150人が通う。ベビーカーに乗って来る子もいる。普通のサラリーマンや公務員らの子どもだ。

「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」。戴さんが一番伝えたいことだという。市場経済の競争の中で道徳観が低下していると危機感を抱く。「市場経済の道徳として儒教思想は必要だ。教室は学者としての責任感から始めた。政治思想として教えるわけではない」と言う。

5歳の一人息子を通わせる母親(34)は「競争の世の中でも、物事の道理は分かる大人になって欲しい」。自宅でも論語のCDを流し、家族そろって論語漬けの日々だ。

南京では公立の幼稚園や小学校の一部でも儒教思想を教えるが、教師次第。子どもに精神修養や教養をと願う親は増え、市内にある論語の教室は少なくとも5カ所。

学而時習之、不亦説乎

「論語」を勉強する子どもと親たち＝南京市で、上田幸一撮影

孔子生誕祭に政府幹部の姿

孔子の故郷、山東省曲阜。孔子廟などが世界遺産に登録され、年間600万人が訪れる儒教の聖地だ。昨年9月の孔子の誕生日には、生誕2556年を記念した省政府などが主催した「国際孔子祭り」が開かれ、中央政府の幹部や企業幹部、学者ら約6千人が集った。

式典では市長が祭文を読み上げた。「孔子への崇拝を表すとともに孔子思想を内外に広げるため」と、曲阜市共産党委員会の袁炳新・副書記50歳は説明する。

袁副書記は世界の儒教研究の[illegible]めざすと

世界発 2006

儒教（孔子）と中国

キーワード 春秋時代の思想家・孔子に始まる政治・倫理思想。徳治主義による秩序維持と君主権の基盤となる。「論語」は孔子の死後、弟子がまとめた言行書。中心思想は仁で、孝と悌（てい）の家族道徳を基礎とした。清朝末まで体制教学として機能し、20世紀に入ると封建制度を支えるとして批判され、新中国建国後も文化大革命などで攻撃された。

80年代からの改革・開放期、特に90年代以降、[illegible]格差が広がり、「復権」。最近では中国政府が世界規模の文化戦略として中国の学校「孔子学院」設立を始めた。

中国映画『孔子の教え』(2009年制作)

講義内容

第一節　春秋戦国時代
～五百年以上におよぶ戦乱の時代の始まり

第二節　孔子の生涯と儒教経典
～秩序ある世界の復活を求めて

第一節

春秋戦国時代

五百年におよぶ戦乱の時代の始まり

周は神権政治の殷を滅ぼし、天命論に基づく徳治主義によって人間中心の秩序ある社会を築いた。

しかし、その周も建国から二百年あまりが過ぎると、たび重なる失政によって、しだいに民の心を失っていった。

周の第十代・厲王は、その暴虐非道な政治によって王位をおわれ、周は一時期、王の空位時代を迎える。

この時代を示す言葉は、現在もmonarchy(君主制)に対するrepublicの訳語として使われているが、この言葉とは何か？

?

說於是周武王爲天子其後世貶帝號號爲王而封殷後爲諸侯屬周周武王崩武庚與管叔蔡叔作亂成王命周公誅之而立微子於宋以續殷後焉

太史公曰余以頌次契之事自成湯以來采於詩書契爲子姓其後分封以國爲姓有殷氏來氏宋氏空桐氏稚氏北殷氏目夷氏孔子曰殷路車爲善而邑尚白

史記三 終

琴川毛鳳苞 氏周西宋出

史記四

周本紀第四

周后稷名棄其母有邰氏女曰姜原（韓詩章句曰姜姓原字或曰姜原謚號也）姜原爲帝嚳元妃姜原出野見巨人跡心忻然說欲踐之踐之而身動如孕者居期而生子以爲不祥棄之隘巷馬牛過者皆辟不踐徙置之林中適會山林多人遷之而棄渠中氷上飛鳥以其翼覆薦之姜原以爲神遂收養長之初欲棄之因名曰棄棄爲兒時忆如巨人之志其游戲好種樹麻菽麻菽美及爲成人遂好耕農相地之宜宜穀者稼穡焉民皆法則之帝堯聞之舉棄爲農師天下得其利有功帝舜曰棄黎民始飢（徐廣曰今文尚書云祖飢故此作始飢祖始也）爾后稷播時百穀封棄於邰（徐廣曰今蘭鄉在扶風）號曰后稷別姓姬氏（禮緯曰祖以履大跡而生）后稷之興在陶唐虞夏之際皆有令德后稷卒（山海經大荒經曰黑水青水之間有廣都之野后稷葬焉皇甫謐曰冢去中國三萬里也）子不窋立不

琴川毛鳳苞 氏周西宋出

司馬遷『史記』周本紀

「共和」の由来

王の行い、暴虐侈傲。国人、王を謗(そし)る。召公諫めて曰く「民、命に堪えず」と。王怒りて、衛の巫を得て、謗る者を監せしめ、告ぐれば則ち之を殺す。（中略）厲王喜び召公に告げて曰く「吾、よく謗るをとむ。すなわち敢えて言わず」と。

司馬遷『史記』周本紀

「共和」の由来

（厲王の）三年（紀元前八四一年）、（国人）相ともに叛き厲王を襲う。厲王、彘*に出奔す。（中略）召公・周公の二相、政を行い、号して曰く「共和*」と。共和十四年、厲王、彘に死す。

司馬遷『史記』周本紀

＊彘（てい）地名。現在の山西省霍県の東北

＊共和　『漢書』古今人表の（唐）顔師古注や（宋）王応麟の「詩地理考」によれば、共は国名、和は共伯の名という。

周の東遷

厲王の死後、その子・宣王が即位し、周は一時期、中興の時代を迎える。

しかし、その中興も長くは続かなかった。第十二代の幽王が、祖父の厲王と同じく失政を繰り返した結果、周は父祖の地を追われ、はるか東にある洛陽に都を遷した。

周の青銅器はなぜ埋められたのか

殷王朝とは異なり、周王朝はその実在を証明する大盂鼎などの青銅器が、早くから出土していた。それらはなぜ埋められたのか？

資料映像

故宮至宝 2

周 BC1046?-BC256
周
西周の都・鎬京

烽火、諸侯を戯る

司馬遷『史記』が伝える周の東遷

天命を失った幽王

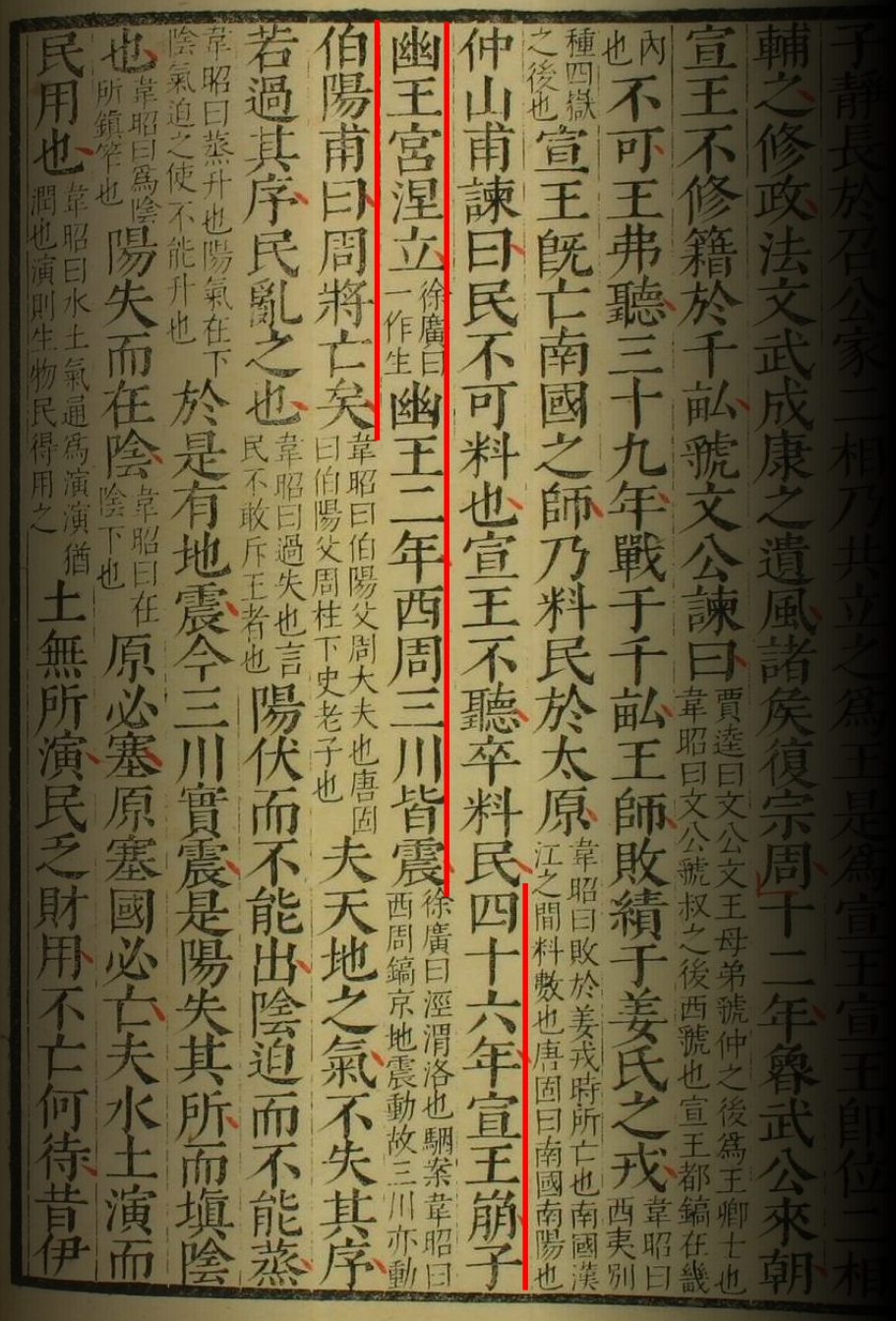
四十六年、宣王崩ず。子幽王宮涅（きゅうでつ）立つ。

幽王二年、西周三川皆震す*。

伯陽甫曰く「周、将に滅びんとす」と。

*涇水、渭水、洛水の三つの川が地震によって決壊したことを指す。ここでは、周が幽王の失政によって「天命」が失われようとしていることを暗示する天変地異として言及されている。

司馬遷『史記』周本紀

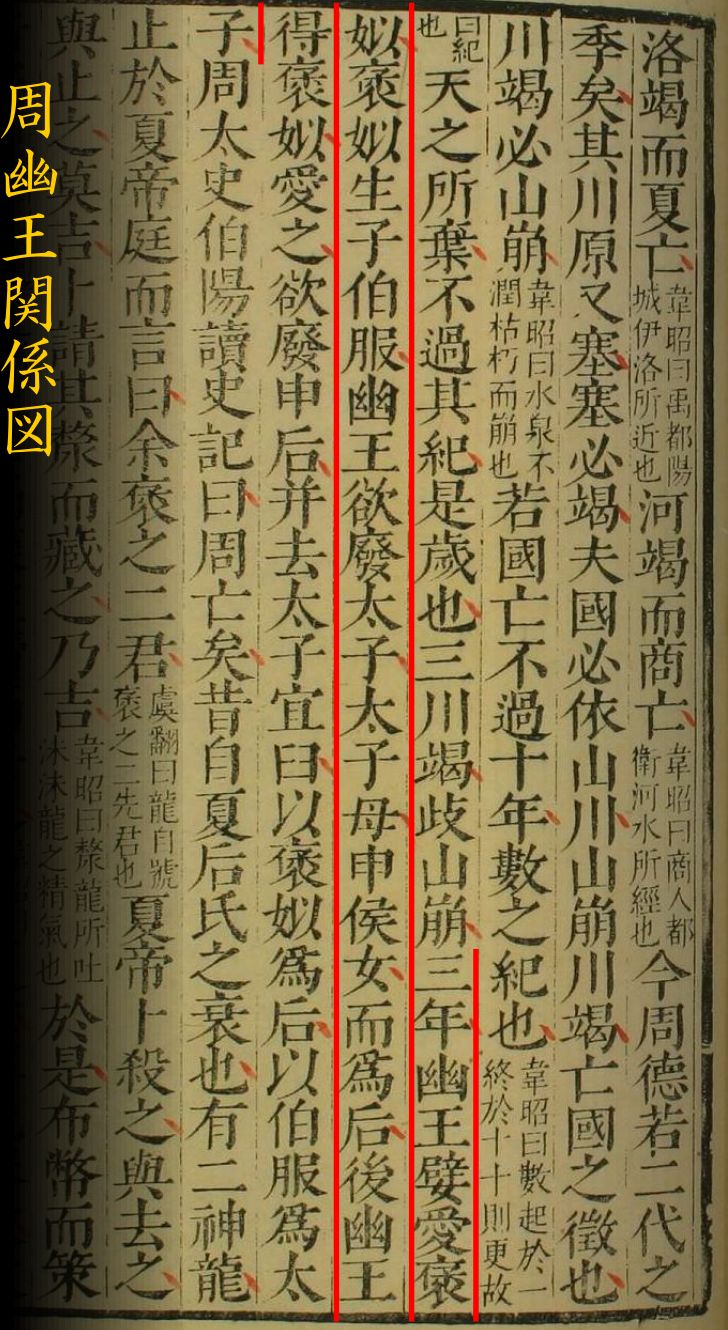


天命を失った幽王

三年、幽王、褒姒を嬖愛（へいあい）す。

褒姒、子・伯服を生む。幽王、太子を廃せんと欲す。太子の母は申侯の女（むすめ）にして、后（きさき）たり。後、幽王、褒姒を得て之を愛し、申后を廃し、并せて太子宜臼を去り、褒姒を以て后と為し、伯服を以て太子と為さんと欲す。

（漢）司馬遷『史記』周本紀



洛竭而夏亡（韋昭曰禹都陽城伊洛所近也）河竭而商亡（韋昭曰商人都衛河水所經也）今周德若二代之季矣其川原又塞塞必竭夫國必依山川山崩川竭亡國之徵也川竭必山崩（韋昭曰水泉不潤枯朽而崩也）若國亡不過十年數之紀也（韋昭曰數起於一終於十十則更故曰紀也）天之所棄不過其紀是歲也三川竭岐山崩三年幽王嬖愛褒姒褒姒生子伯服幽王欲廢太子太子母申侯女而爲后後幽王得褒姒愛之欲廢申后并去太子宜臼以褒姒爲后以伯服爲太子周太史伯陽讀史記曰周亡矣昔自夏后氏之衰也有二神龍止於夏帝庭而言曰余褒之二君（虞翻曰龍自號褒之二先君也）夏帝卜殺之與去之與止之莫吉卜請其漦而藏之乃吉（韋昭曰漦龍所吐沫沫龍之精氣也）於是布幣而策

於是有地震（韋昭曰蒸升也陽氣在下陰氣迫之使不能升也）陽伏而不能出陰迫而不能蒸（韋昭曰陽氏也陰氏也）陽失而在陰（韋昭曰在陰下也）原必塞原塞國必亡夫水土演而民用也（韋昭曰水土氣通爲演演猶潤也演則生物民得用之）土無所演民乏財用不亡何待昔伊

周幽王関係図

申侯――申后

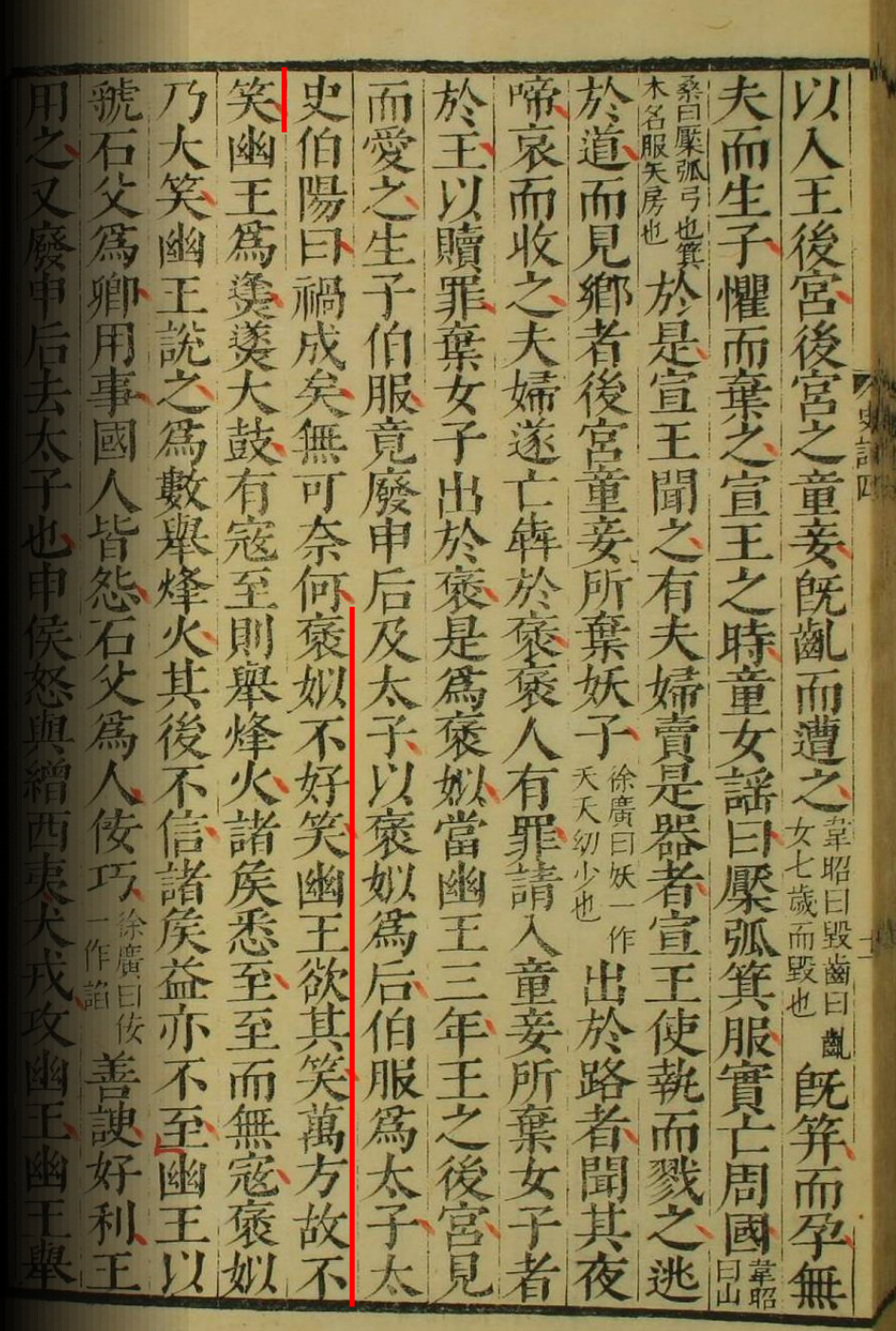
幽王――太子宜臼

褒姒――伯服

天命を失った幽王

褒姒は笑うを好まず。幽王、其の笑わんことを欲す。萬方すれども故（ことさら）らに笑わず。

（漢）司馬遷『史記』周本紀

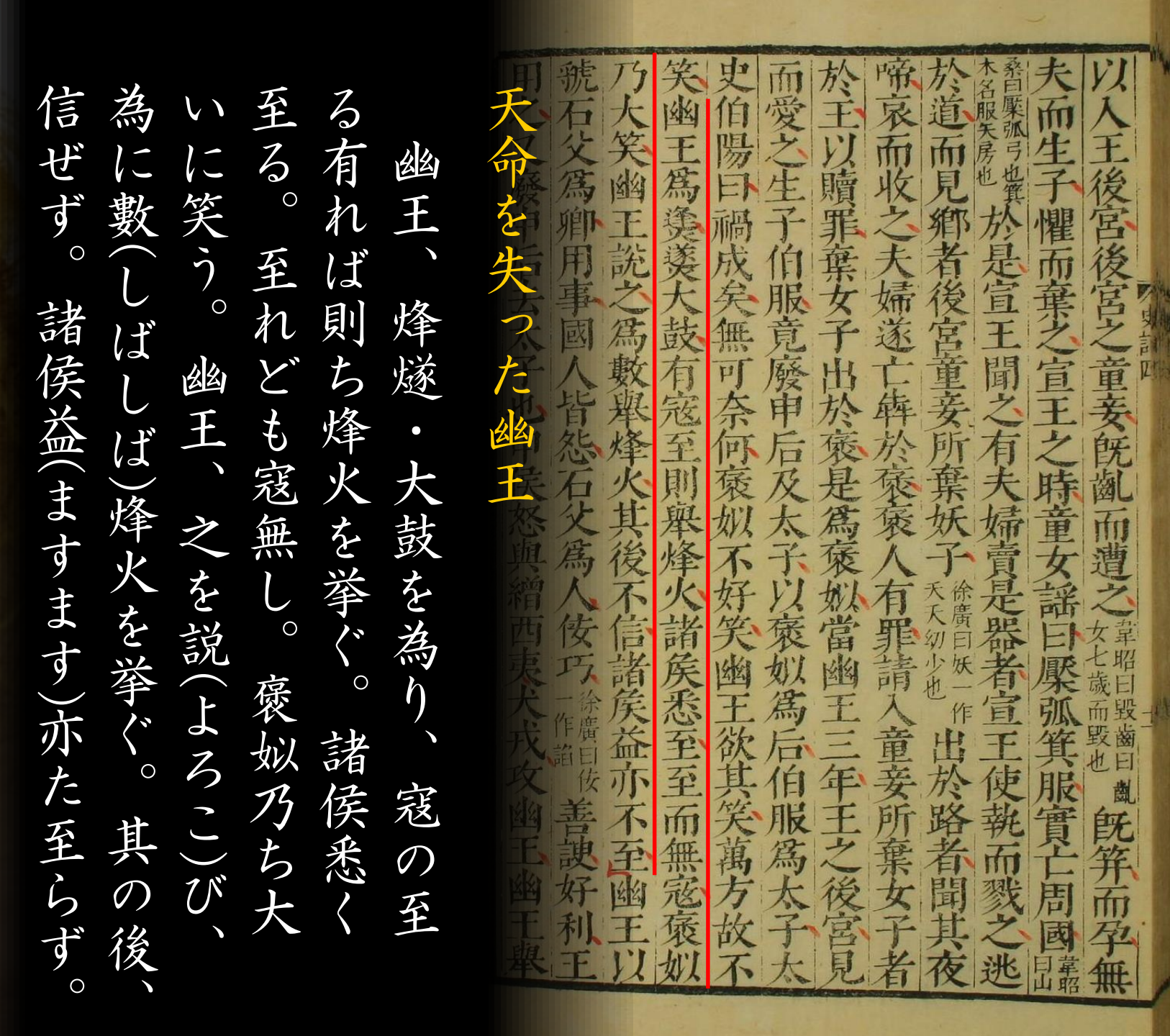


以入王後宮後宮之童妾既亂而遭之韋昭曰毀齒曰亂女七歲而毀也既笄而孕無夫而生子懼而棄之宣王之時童女謠曰檿弧箕服實亡周國韋昭曰山桑曰檿弧弓也箕木名服矢房也於是宣王聞之有夫婦賣是器者宣王使執而戮之逃於道而見鄉者後宮童妾所棄妖子徐廣曰妖一作夭夭幼少也出於路者聞其夜啼哀而收之夫婦遂亡犇於褒褒人有罪請入童妾所棄女子者於王以贖罪棄女子出於褒是爲褒姒當幽王三年王之後宮見而愛之生子伯服竟廢申后及太子以褒姒爲后伯服爲太子太史伯陽曰禍成矣無可奈何褒姒不好笑幽王欲其笑萬方故不笑幽王爲鼓鼙大鼓有寇至則舉烽火諸侯悉至至而無寇褒姒乃大笑幽王說之爲數舉烽火其後不信諸侯益亦不至幽王以虢石父爲卿用事國人皆怨石父爲人佞巧徐廣曰佞一作諂善諛好利王用之又廢申后去太子也申侯怒與繒西夷犬戎攻幽王幽王舉

天命を失った幽王

幽王、烽燧・大鼓を為り、寇の至る有れば則ち烽火を挙ぐ。諸侯悉く至る。至れども寇無し。褒姒乃ち大いに笑う。幽王、之を説(よろこ)び、為に數(しばしば)烽火を挙ぐ。其の後、信ぜず。諸侯益(ますます)亦た至らず。

(漢)司馬遷『史記』周本紀

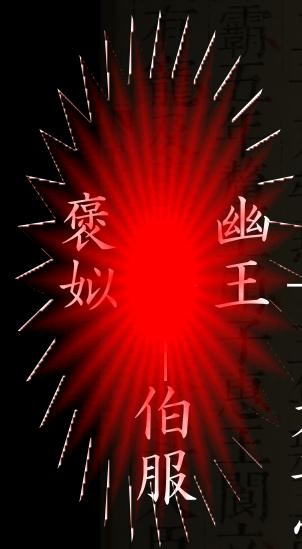


天命を失った幽王

また申后を廃し、太子を去る。申侯怒り、繒・西夷・犬戎と与に幽王を攻む。幽王、烽火を挙げて兵を徴す。兵、至るもの莫し。遂に幽王を驪山(りざん)の下に殺し、褒姒を虜にし、盡く周の賂(たから)を取りて去る。

(漢)司馬遷『史記』周本紀

烽火徵兵兵莫至遂殺幽王驪山下虜褒姒盡取周賂而去汲冢紀年曰自武王滅殷以至幽王凡二百五十七年也於是諸侯乃即申侯而共立故幽王太子宜臼是爲平王以奉周祀平王立東遷于雒邑辟戎寇平王之時周室衰微諸侯强并弱齊楚秦晉始大政由方伯周禮曰九命作伯鄭衆云長諸侯爲方伯四十九年魯隱公即位五十一年平王崩太子洩父蚤死立其子林是爲桓王桓王平王孫也桓王三年鄭莊公朝桓王不禮五年鄭怨與魯易許田太山田也八年魯殺隱公立桓公十三年伐鄭鄭射傷桓王桓王去歸二十三年桓王崩子莊王佗立莊王四年周公忌父出奔虢而立王子克賈逵曰莊王弟子儀也辛伯告王賈逵曰辛伯周大夫也王殺周公王子克奔燕



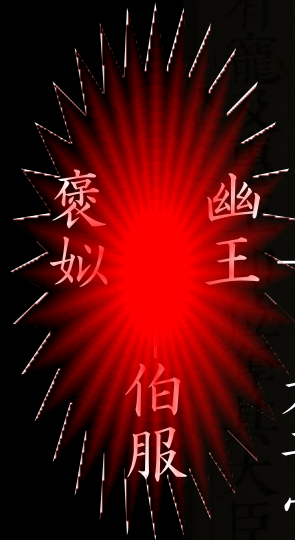
周幽王関係図

申侯――申后
　　└太子宜臼

天命を失った幽王

是に於いて諸侯乃ち申侯に即きて、共に故幽王の太子宜臼を立つ。是れを平王と為し、以て周の祀りを奉ぜしむ。平王立ち、東して雒邑(現在の洛陽)に遷り、戎の寇を辟く。平王の時、周室衰微し、諸侯、強きは弱きを并せ、斉・楚・秦・晋、始めて大なり。政は方伯に由る。

(漢)司馬遷『史記』周本紀



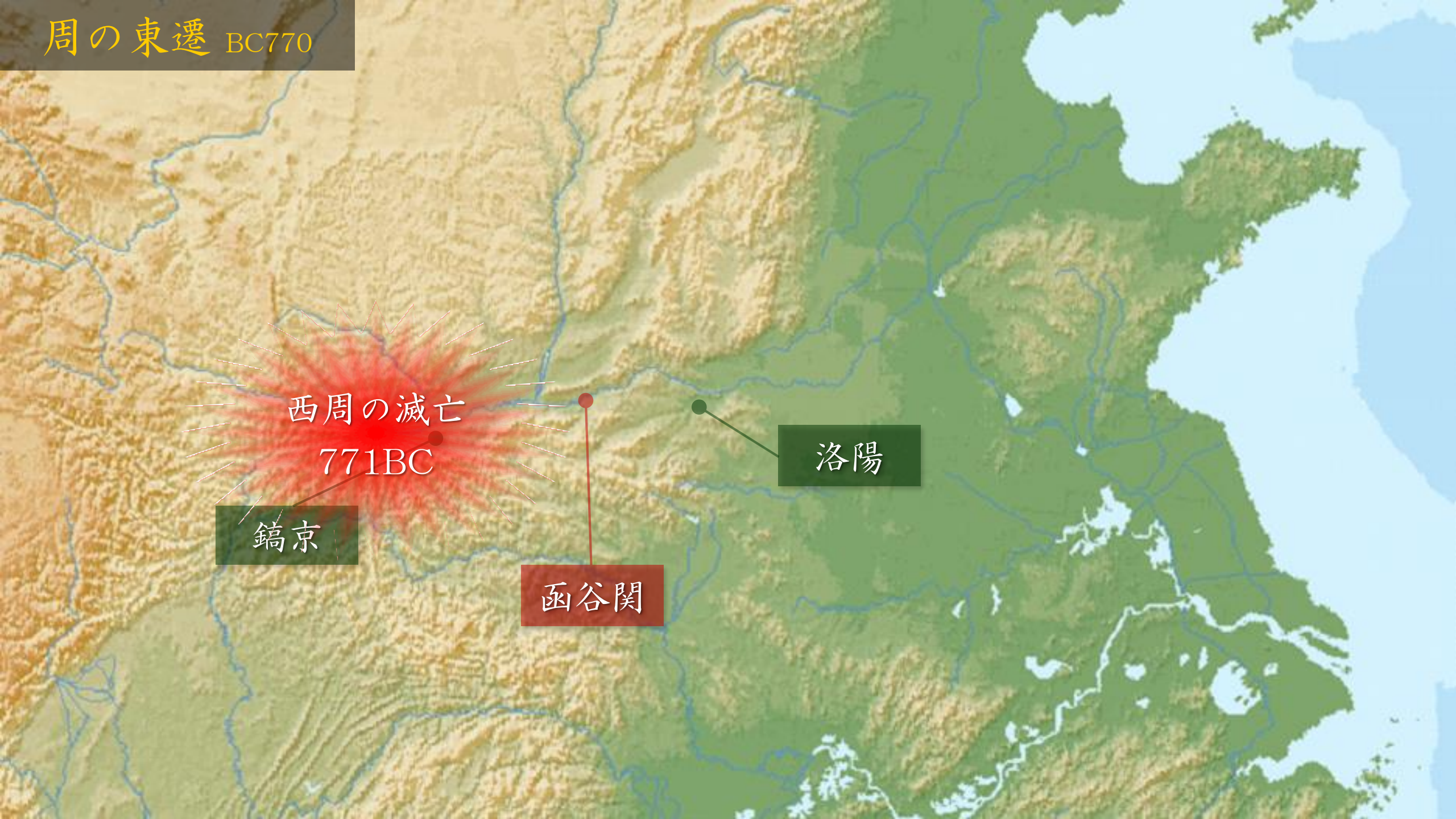
周幽王関係図

申侯――申后
　　└――太子宜臼(東周の平王)

烽火徵兵莫至遂殺幽王驪山下虜褒姒盡取周賂而去汲冢紀年曰自武王滅殷以至幽王凡二百五十七年也於是諸侯乃即申侯而共立故幽王太子宜臼是爲平王以奉周祀平王立東遷于雒邑辟戎寇平王之時周室衰微諸侯强并弱齊楚秦晉始大政由方伯周禮曰九命作伯鄭衆云長諸侯爲方伯四十九年魯隱公即位五十一年平王崩太子洩父蚤死立其子林是爲桓王桓王平王孫也桓王三年鄭莊公朝桓王不禮五年鄭怨與魯易許田許田天子之用事太山田也八年魯殺隱公立桓公十三年

周 BC1046?-BC256

周の東遷 BC770

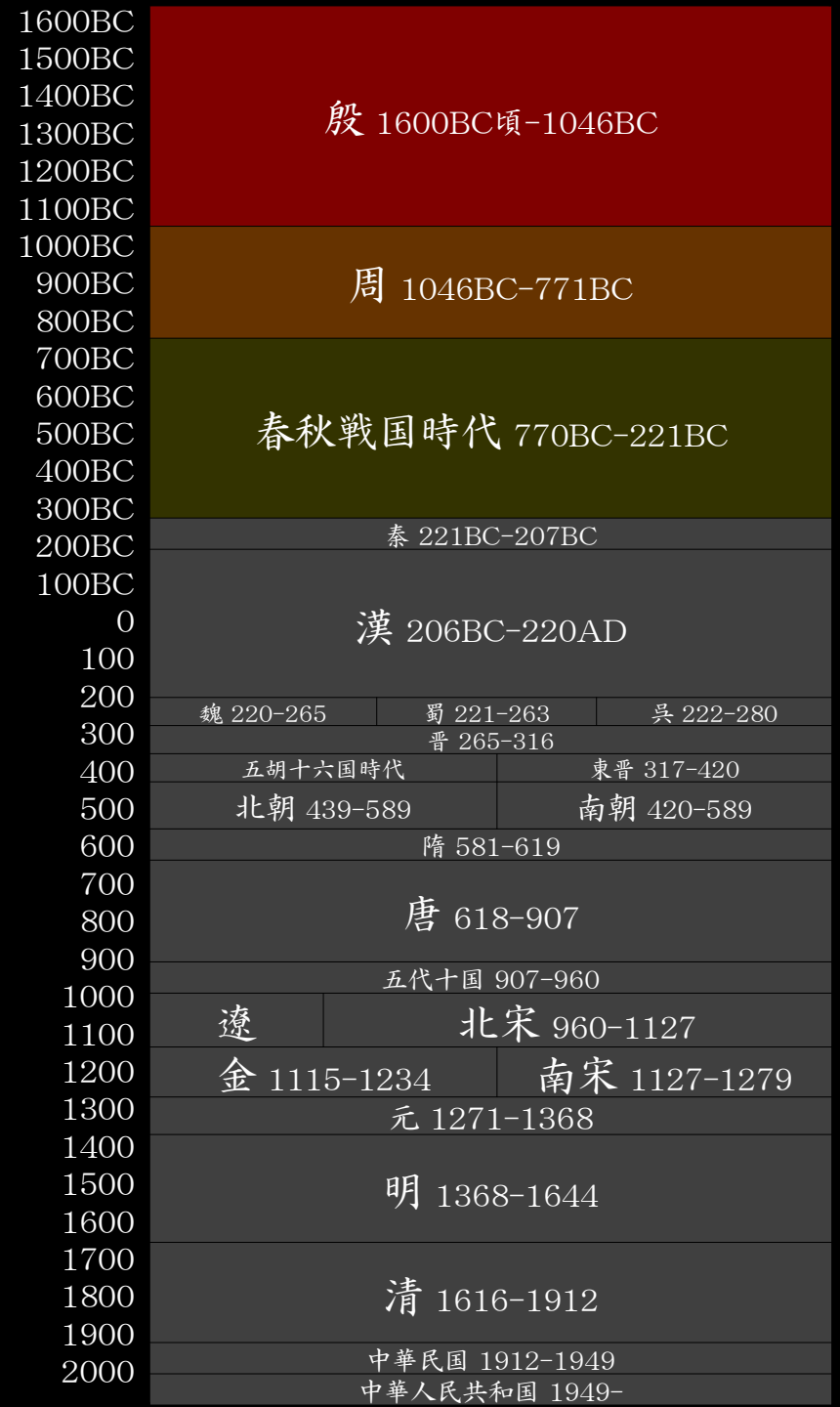


大盂鼎（B.C.1000頃）

残された青銅器

洛陽への遷都の際、運ぶことができなかった大型の青銅器は、地中に埋められた。このため周の故地である周原（陝西省岐山県と扶風県一帯）からは、数多くの青銅器が発見されている。

清の道光初年（一八二一～三〇）に陝西省郿県礼村で発見された大盂鼎もその一つである。



紀元前七七〇年に都を洛陽に遷して以降、周室は衰微し、秦が再び全土を統一するまでの五百年あまりの間、中国は弱肉強食の戦乱の時代を迎える。

この時代を春秋戦国時代という。

第二節

孔子

秩序ある平和な世界を求めて

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000
殷 1600BC頃-1046BC
周 1046BC-771BC
春秋戦国時代 770BC-221BC
孔子（551BC～479BC）
秦 221BC-207BC
漢 206BC-220AD
魏 220-265
蜀 221-263
呉 222-280
晋 265-316
五胡十六国時代
東晋 317-420
北朝 439-589
南朝 420-589
隋 581-619
唐 618-907
五代十国 907-960
遼
北宋 960-1127
金 1115-1234
南宋 1127-1279
元 1271-1368
明 1368-1644
清 1616-1912
中華民国 1912-1949
中華人民共和国 1949-

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 | 蜀 221-263 | 呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 | 東晋 317-420

北朝 439-589 | 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 | 北宋 960-1127

金 1115-1234 | 南宋 1127-1279

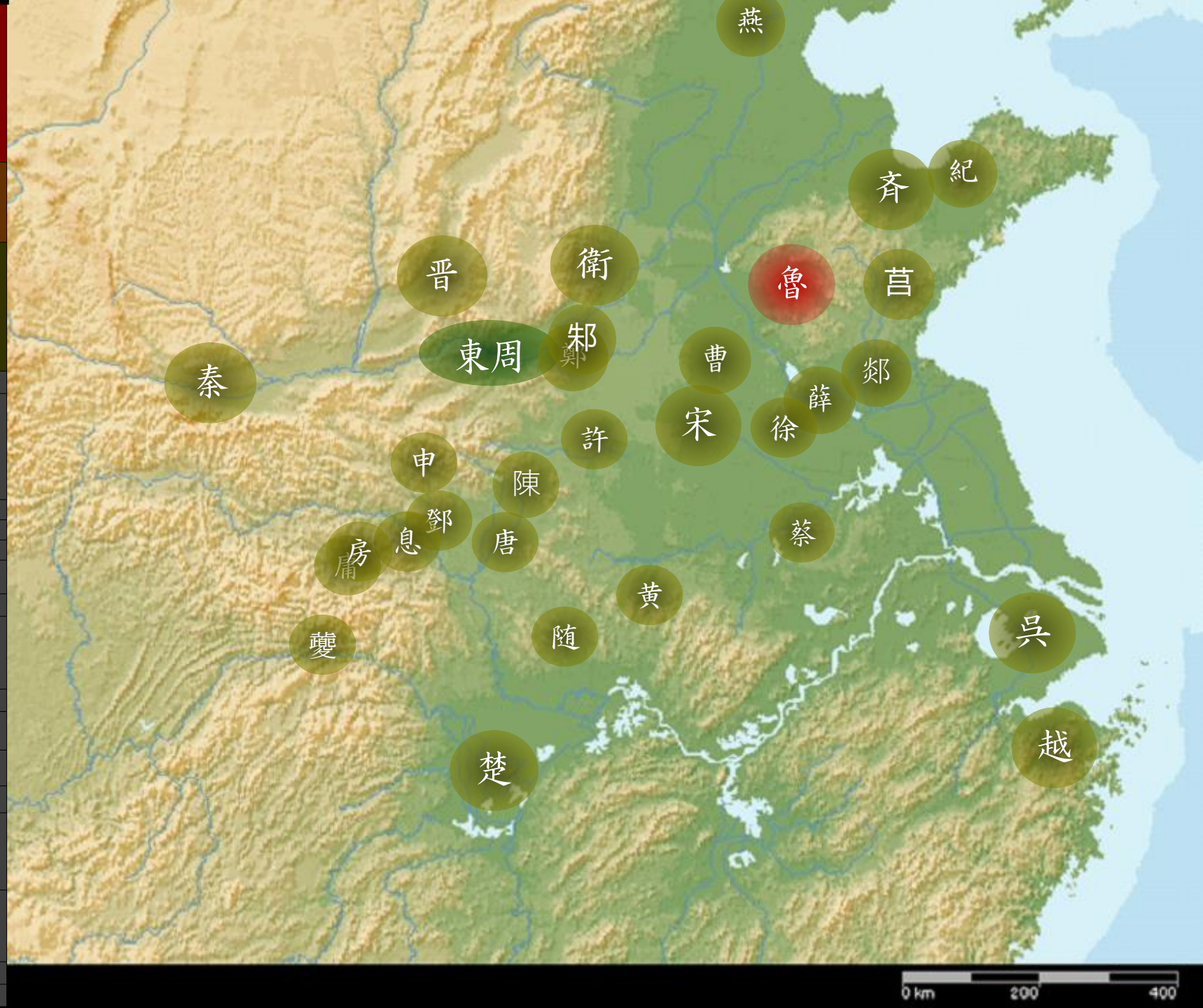
元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-



NHKスペシャル『故宮』より

年号	西暦	年齢	出来事
襄公22年	551BC	0歳	孔子、魯に生まれる。生後まもなく父・叔梁紇、没 ＊史記の説。公羊伝や穀梁伝は孔子の生年を襄公21年とする ＊孔子は“野合而生”（私生児）であったため、父の墓所さえ知らされなかった
昭公13年	529BC	22歳	母の顔徵在、没 ＊母の死後、孔子は父の墓を探し出し、二人を合葬した
25年	517BC	34歳	昭公、三桓討伐に失敗、斉に亡命。孔子も後を追う ＊この外遊中に斉で古代の舜の音楽である韶を聞く（斉の景公に拝謁したのもこのころ？）
26年	516BC	35歳	斉から魯に帰り、塾を開いて後進の指導を始める
32年	510BC	41歳	魯の昭公、亡命先の斉で没
定公 9年	501BC	50歳	魯に仕官、中都の宰となる
12年	498BC	53歳	大司寇となり三桓の勢力を抑えようとするが失敗
13年	497BC	54歳	魯を去り、こののち十三年間、列国を放浪
哀公11年	484BC	67歳	放浪を終え、魯に帰る ＊この年、子の鯉が亡くなったのを始めとして、数年の間に愛弟子の顔回や子路を相継いで亡くす
14年	481BC	70歳	魯の哀公、麟を捕獲し、孔子、嘆く
16年	479BC	72歳	没　曲阜北郊の泗水のほとりに葬られる

NHKスペシャル『故宮』より

年号	西暦	年齢	出来事
襄公22年	551BC	0歳	孔子、魯に生まれる。生後まもなく父・叔梁紇、没 ＊史記の説。公羊伝や穀梁伝は孔子の生年を襄公21年とする ＊孔子は“野合而生”（私生児）であったため、父の墓所さえ知らされなかった
昭公13年	529BC	22歳	母の顔徵在、没 ＊母の死後、孔子は父の墓を探し出し、二人を合葬した
25年	517BC	34歳	昭公、三桓討伐に失敗、斉に亡命。孔子も後を追う ＊この外遊中に斉で古代の舜の音楽である韶を聞く（斉の景公に拝謁したのもこのころ？）
26年	516BC	35歳	斉から魯に帰り、塾を開いて後進の指導を始める
32年	510BC	41歳	魯の昭公、亡命先の斉で没
定公 9年	501BC	50歳	魯に仕官、中都の宰となる
12年	498BC	53歳	大司寇となり三桓の勢力を抑えようとするが失敗
13年	497BC	54歳	魯を去り、こののち十三年間、列国を放浪
哀公11年	484BC	67歳	放浪を終え、魯に帰る ＊この年、子の鯉が亡くなったのを始めとして、数年の間に愛弟子の顔回や子路を相継いで亡くす
14年	481BC	70歳	魯の哀公、麟を捕獲し、孔子、嘆く
16年	479BC	72歳	没　曲阜北郊の泗水のほとりに葬られる

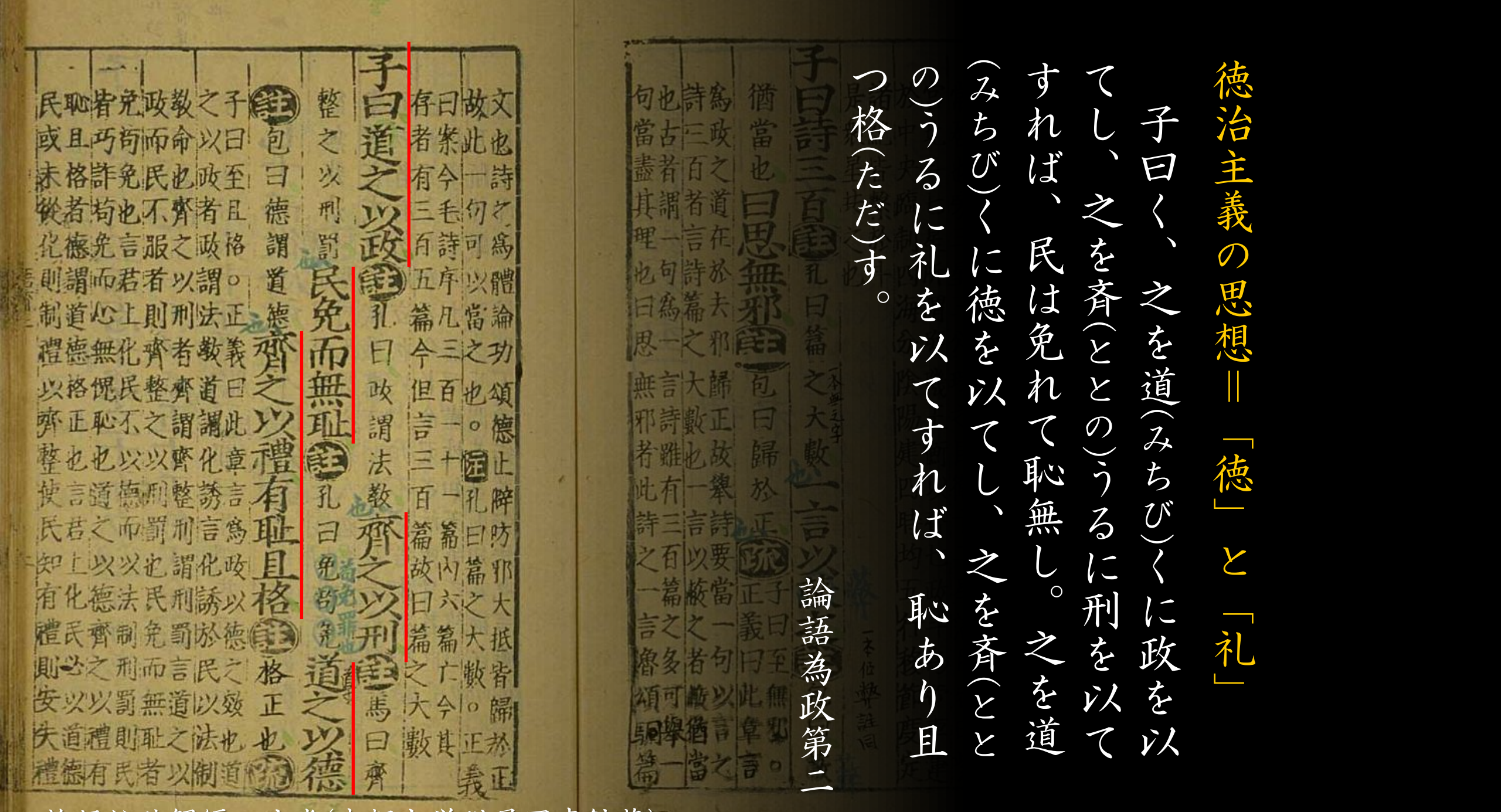
資料映像：ＮＨＫスペシャル「故宮」より

年号	西暦	年齢	出来事
襄公22年	551BC	0歳	孔子、魯に生まれる。生後まもなく父・叔梁紇、没 ＊史記の説。公羊伝や穀梁伝は孔子の生年を襄公21年とする ＊孔子は“野合而生”（私生児）であったため、父の墓所さえ知らされなかった
昭公13年	529BC	22歳	母の顔徵在、没 ＊母の死後、孔子は父の墓を探し出し、二人を合葬した
25年	517BC	34歳	昭公、三桓討伐に失敗、斉に亡命。孔子も後を追う ＊この外遊中に斉で古代の舜の音楽である韶を聞く（斉の景公に拝謁したのもこのころ？）
26年	516BC	35歳	斉から魯に帰り、塾を開いて後進の指導を始める
32年	510BC	41歳	魯の昭公、亡命先の斉で没
定公 9年	501BC	50歳	魯に仕官、中都の宰となる
12年	498BC	53歳	大司寇となり三桓の勢力を抑えようとするが失敗
13年	497BC	54歳	魯を去り、こののち十三年間、列国を放浪
哀公11年	484BC	67歳	放浪を終え、魯に帰る ＊この年、子の鯉が亡くなったのを始めとして、数年の間に愛弟子の顔回や子路を相継いで亡くす
14年	481BC	70歳	魯の哀公、麟を捕獲し、孔子、嘆く
16年	479BC	72歳	没　曲阜北郊の泗水のほとりに葬られる

徳治主義の思想＝「徳」と「礼」

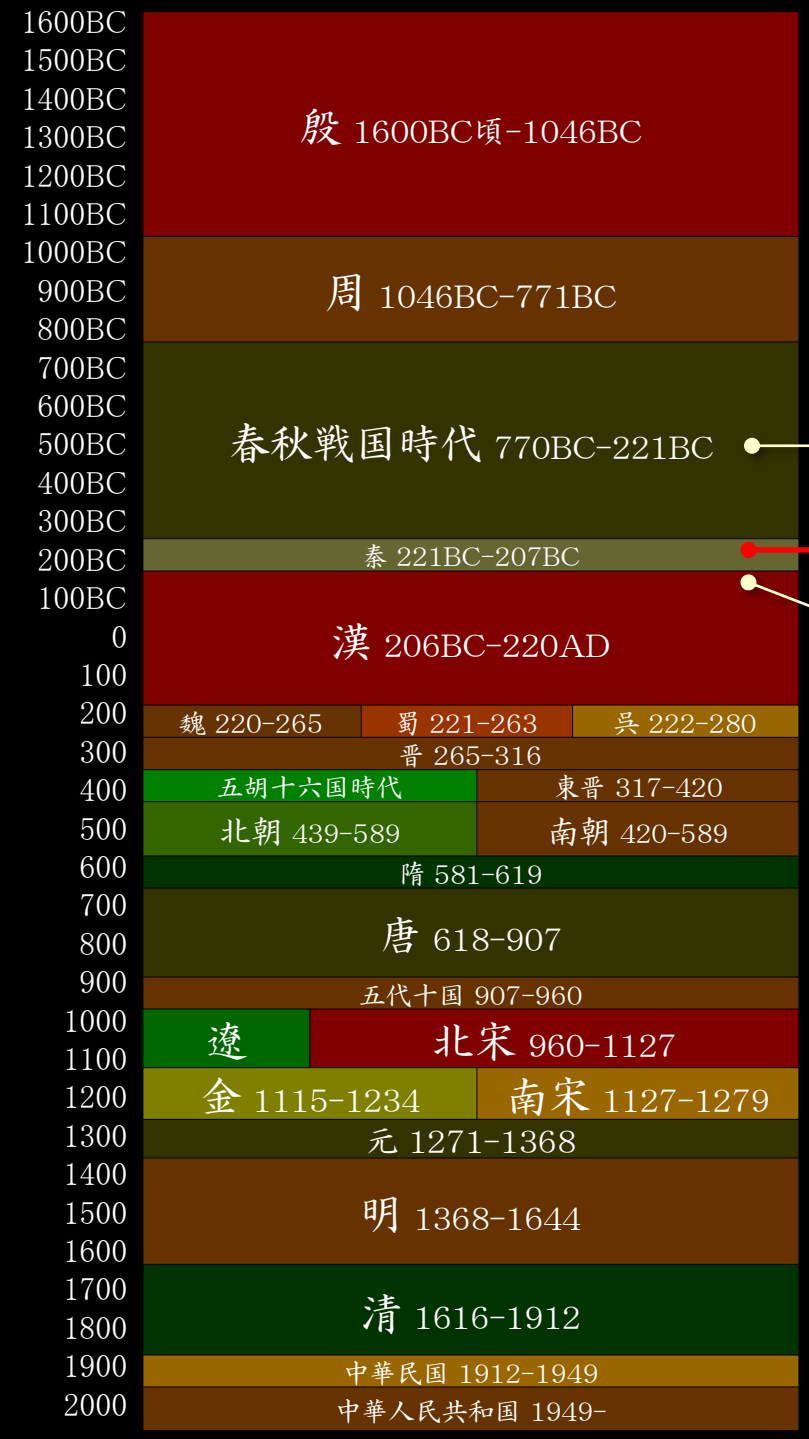
子曰く、之を道(みちび)くに政を以てし、之を斉(ととの)うるに刑を以てすれば、民は免れて恥無し。之を道(みちび)くに徳を以てし、之を斉(ととの)うるに礼を以てすれば、恥あり且つ格(ただ)す。

論語為政第二



論語註疏解經二十卷(京都大学附属図書館蔵)

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000
殷 1600BC頃-1046BC
周 1046BC-771BC
春秋戦国時代 770BC-221BC
孔子（551BC～479BC）
秦 221BC-207BC
漢 206BC-220AD
魏 220-265
蜀 221-263
呉 222-280
晋 265-316
五胡十六国時代
東晋 317-420
北朝 439-589
南朝 420-589
隋 581-619
唐 618-907
五代十国 907-960
遼
北宋 960-1127
金 1115-1234
南宋 1127-1279
元 1271-1368
明 1368-1644
清 1616-1912
中華民国 1912-1949
中華人民共和国 1949-



孔子（551BC～479BC）

秦の始皇帝、儒教を弾圧(焚書坑儒)

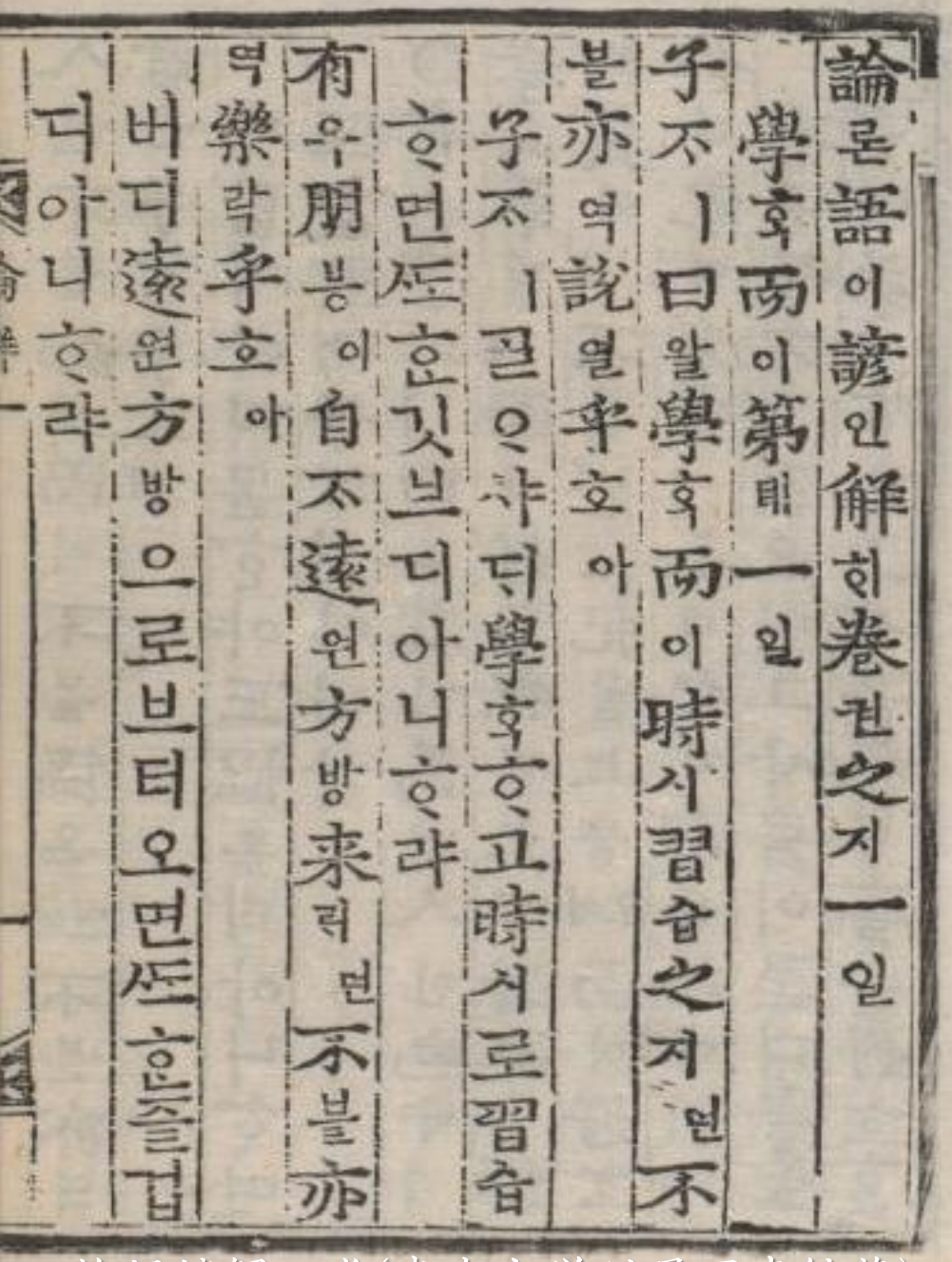
五経博士を置き、儒教国教化(136BC)

以後二千年以上にわたり、
中国文明の精神的支えとなる

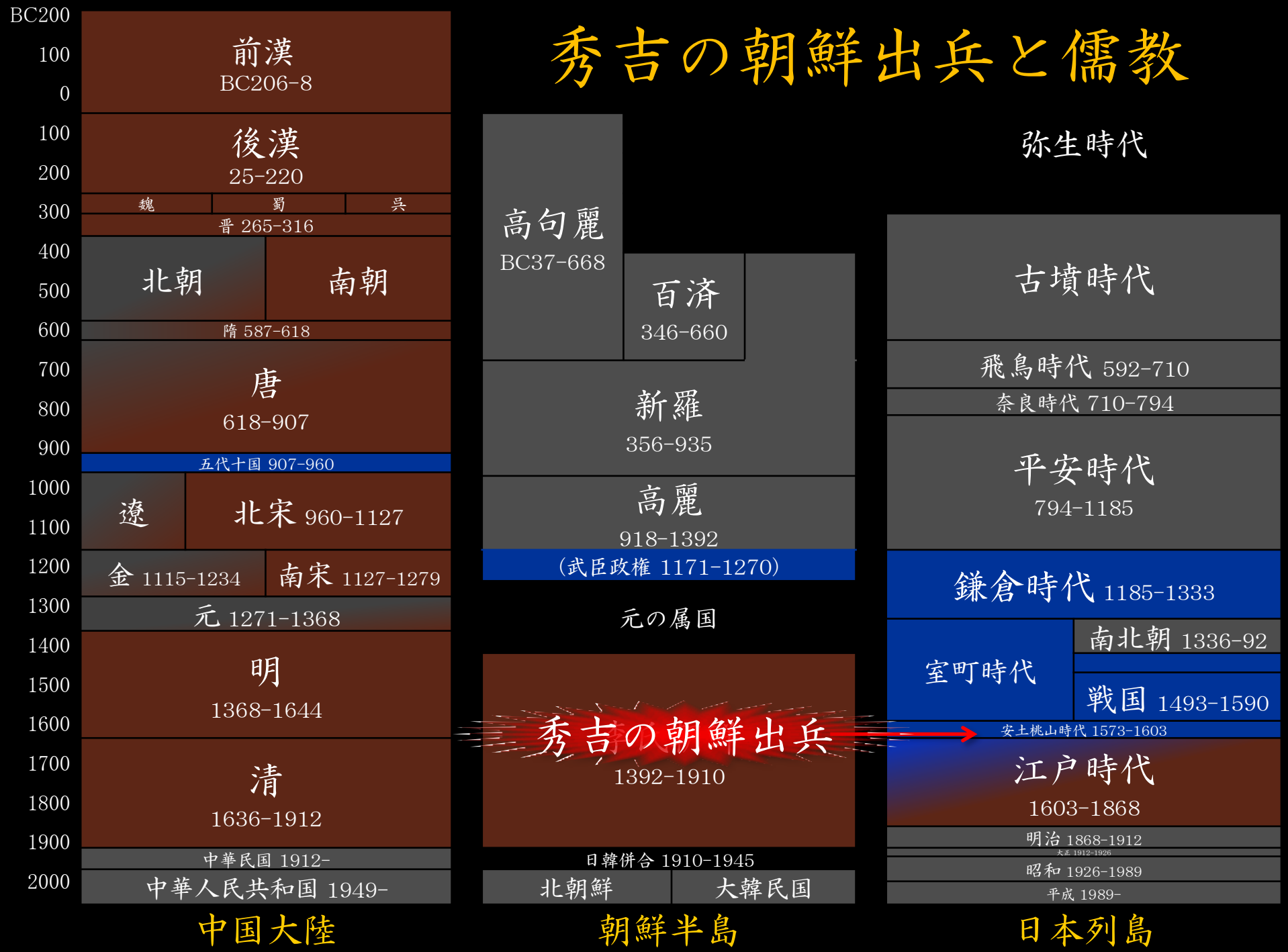
儒教と東アジア

法律や刑罰ではなく、道徳や礼儀によって秩序ある社会を築こうする儒教の教えは、やがて東アジアの国々にも広まっていった。

朝鮮半島では李氏朝鮮の時代に儒教が官学となり、日本でも江戸時代に儒教が正学となると、東アジアに平和で安定した国際秩序が形成された。


論語諺解四卷(東京大学附属図書館蔵)

秀吉の朝鮮出兵と儒教

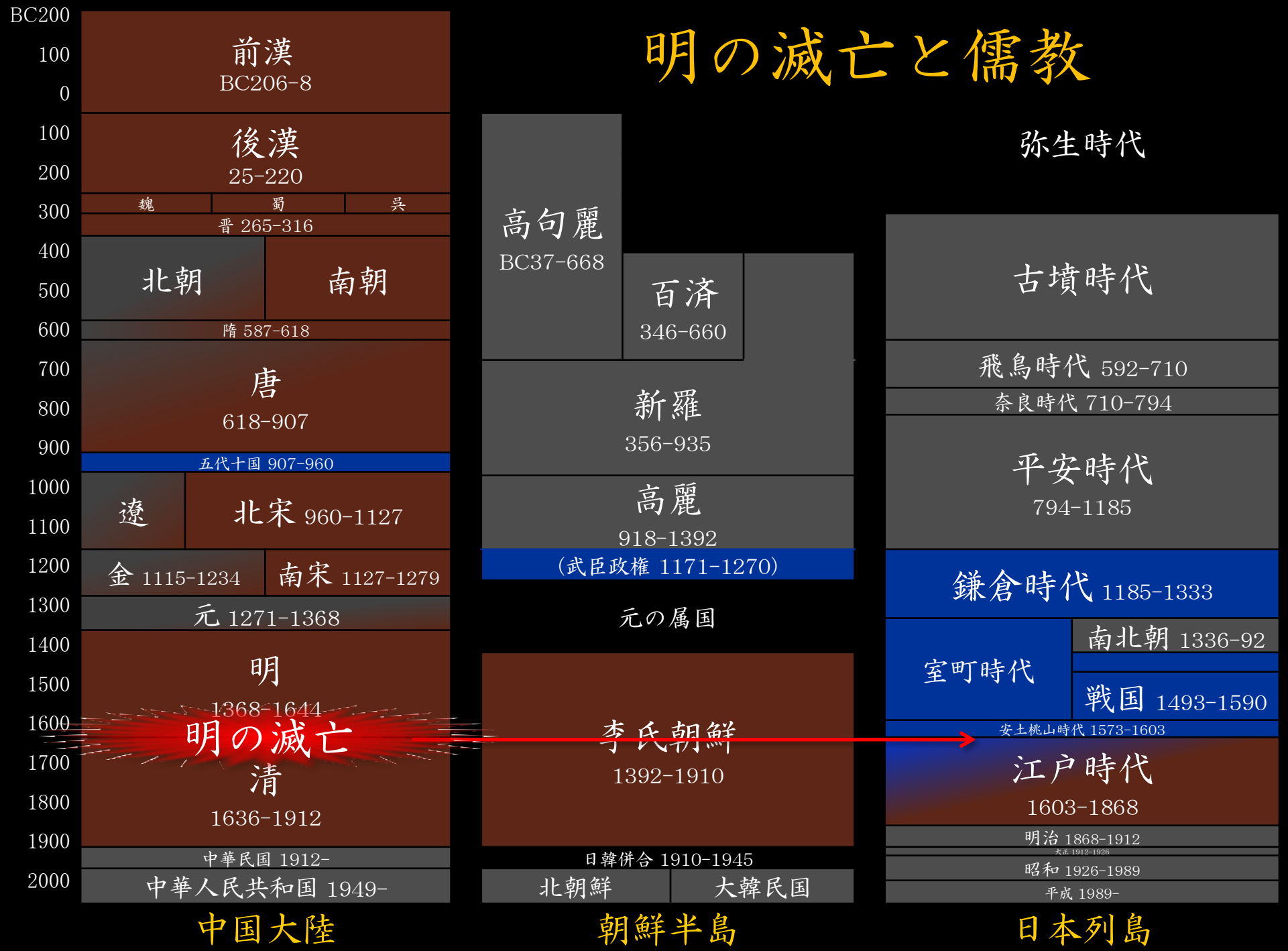

BC200
100
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000
前漢
BC206-8
後漢
25-220
魏
蜀
呉
晋 265-316
北朝
南朝
隋 587-618
唐
618-907
五代十国 907-960
遼
北宋 960-1127
金 1115-1234
南宋 1127-1279
元 1271-1368
明
1368-1644
清
1636-1912
中華民国 1912-
中華人民共和国 1949-
中国大陸
高句麗
BC37-668
百済
346-660
新羅
356-935
高麗
918-1392
(武臣政権 1171-1270)
元の属国
秀吉の朝鮮出兵
1392-1910
日韓併合 1910-1945
北朝鮮
大韓民国
朝鮮半島
弥生時代
古墳時代
飛鳥時代 592-710
奈良時代 710-794
平安時代
794-1185
鎌倉時代 1185-1333
室町時代
南北朝 1336-92
戦国 1493-1590
安土桃山時代 1573-1603
江戸時代
1603-1868
明治 1868-1912
大正 1912-1926
昭和 1926-1989
平成 1989-
日本列島

姜沆（1567-1618）

藤原惺窩（1561-1619）

林羅山（1583-1657）

明の滅亡と儒教


BC200
100
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000
前漢
BC206-8
後漢
25-220
魏
蜀
呉
晋 265-316
北朝
南朝
隋 587-618
唐
618-907
五代十国 907-960
遼
北宋 960-1127
金 1115-1234
南宋 1127-1279
元 1271-1368
明
1368-1644
明の滅亡
清
1636-1912
中華民国 1912-
中華人民共和国 1949-
中国大陸
高句麗
BC37-668
百済
346-660
新羅
356-935
高麗
918-1392
(武臣政権 1171-1270)
元の属国
李氏朝鮮
1392-1910
日韓併合 1910-1945
北朝鮮
大韓民国
朝鮮半島
弥生時代
古墳時代
飛鳥時代 592-710
奈良時代 710-794
平安時代
794-1185
鎌倉時代 1185-1333
室町時代
南北朝 1336-92
戦国 1493-1590
安土桃山時代 1573-1603
江戸時代
1603-1868
明治 1868-1912
大正 1912-1926
昭和 1926-1989
平成 1989-
日本列島

朱舜水(1600-1682)

朱舜水が設計した円月橋(小石川後楽園)

中国では、草の根的な儒教教育が復活している。全国に「学堂」と呼ばれる私塾が一〇〇〇校前後開かれ、孔子の生涯を描いた映画やテレビドラマも作られている。

なぜいま儒教なのだろうか？

朝日新聞　２００６年５月５日　朝刊　４ページ　東京本社

儒教 復権

中国で「封建主義の道徳」と批判された儒教が復権、市民生活に定着しつつある。孔子の「論語」を音読する子ども向けの塾は花盛り。ビジネスマンの儒教教室も人気だ。急速な国際化や経済成長が中国人としての自己意識を求めさせる。とはいえ、格差の拡大や拝金主義の横行には不満が強い。国民をまとめる思想を探る当局の思惑もかいま見える。（南京〈中国江蘇省〉＝塚本和人）

中国、塾や教室続々

ベビーカーの「生徒」も

「子曰、学而時習之、不亦説乎」（子曰わく、学んで時にこれを習う、またよろこばしからずや）

明などの都として栄えた南京。毎週土曜日の午前、中心部の鶏鳴寺境内に論語の一節を読む大きな声が響く。小さな講堂に机が並び、壁には孔子の人物画＝写真＝がある。5～6歳の幼稚園児約30人が親と並んで座り、唐代の古典音楽の伴奏で歌うようにリズムをつけて音読していた。1日2時間で2段落を暗記させる。

昨年3月、南京航空航天大学の講師で哲学を教える戴伝江さん(38)のグループがボランティアで始めた。幼稚園の先生らと指導法を考え、教科書は手作りだ。学費は無料。文字を教えることから「論語」「大学」「中庸」まで年齢別に5クラス。1歳から13歳まで約150人が通う。ベビーカーに乗って来る子もいる。普通のサラリーマンや公務員らの子どもだ。

「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」。戴さんが一番伝えたいことだという。市場経済の競争の中で道徳観が低下していると危機感を抱く。「市場経済の道徳として儒教思想は必要だ。教室は学者としての責任感から始めた。政治思想として教えるわけではない」と言う。

5歳の一人息子を通わせる母親(34)は「競争の世の中でも、物事の道理は分かる大人になって欲しい」。自宅でも論語のCDを流し、家族そろって論語漬けの日々だ。

南京では公立の幼稚園や小学校の一部でも儒教思想を教えるが、教師次第。子どもに精神修養や教養をと願う親は増え、市内にある論語の教室は少なくとも5カ所。

学而時習之、不亦説乎

「論語」を勉強する子どもと親たち＝南京市で、上田幸一撮影

孔子生誕祭に政府幹部の姿

孔子の故郷、山東省曲阜。孔子廟などが世界遺産に登録され、年間600万人が訪れる儒教の聖地だ。昨年9月の孔子の誕生日には、生誕2556年を記念した省政府などが主催した「国際孔子祭り」が開かれ、中央政府の幹部や企業幹部、学者ら約6千人が集った。

式典では市長が祭文を読み上げた。「孔子への崇拝を表すとともに孔子思想を内外に広げるため」と、曲阜市共産党委員会の袁炳新・副書記50歳は説明する。

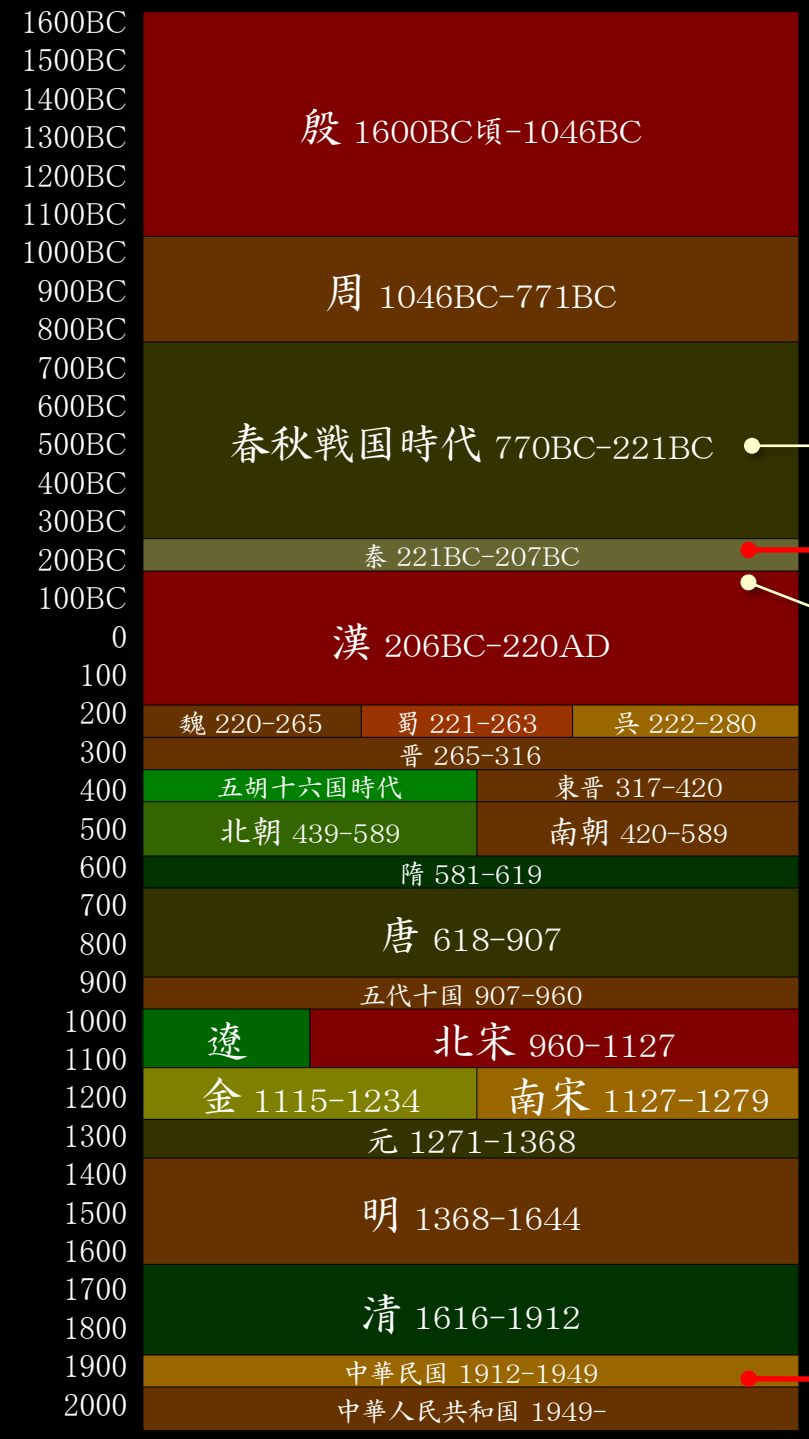
袁副書記は世界の儒教研究の[illegible]めざすと

世界発 2006

儒教（孔子）と中国

キーワード 春秋時代の思想家・孔子に始まる政治・倫理思想。徳治主義による秩序維持と君主権の基盤となる。「論語」は孔子の死後、弟子がまとめた言行書。中心思想は仁で、孝と悌（てい）の家族道徳を基礎とした。清朝末まで体制教学として機能し、20世紀に入ると封建制度を支えるとして批判され、新中国建国後も文化大革命などで攻撃された。

80年代からの改革・開放期、特に90年代以降、[illegible]格差が広がり、「復権」。最近では中国政府が世界規模の文化戦略として中国の学校「孔子学院」設立を始めた。



孔子（551BC～479BC）

秦の始皇帝、儒教を弾圧(焚書坑儒)

五経博士を置き、儒教国教化(136BC)

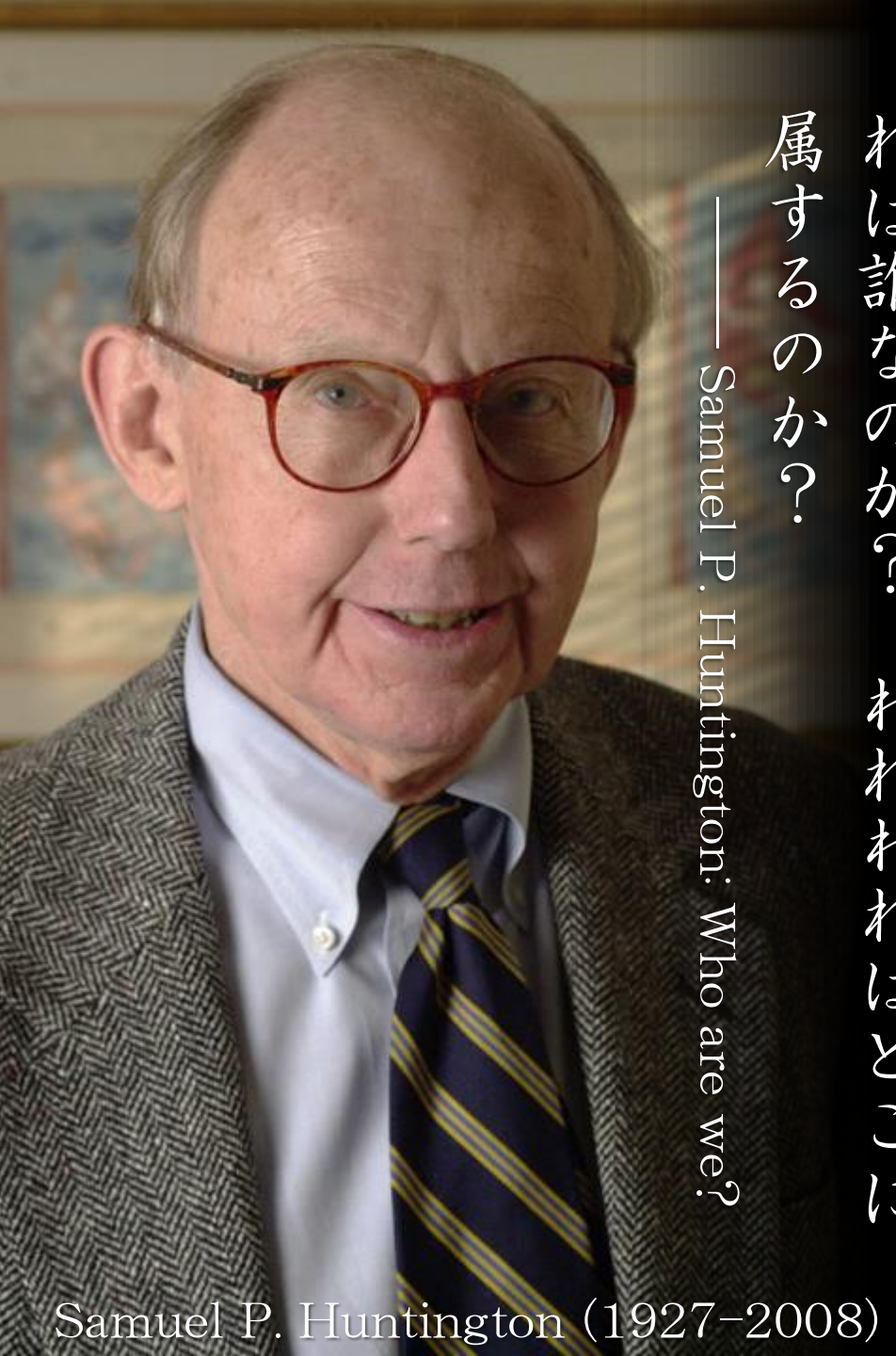
以後二千年以上にわたり、
中国文明の精神的支えとなる

五四運動や文化大革命による儒教批判

儒教の復権

「競争の世の中でも、物事の道理は分かる大人になって欲しい」

——五歳の一人息子を教室に通わせる母親（三十四歳）

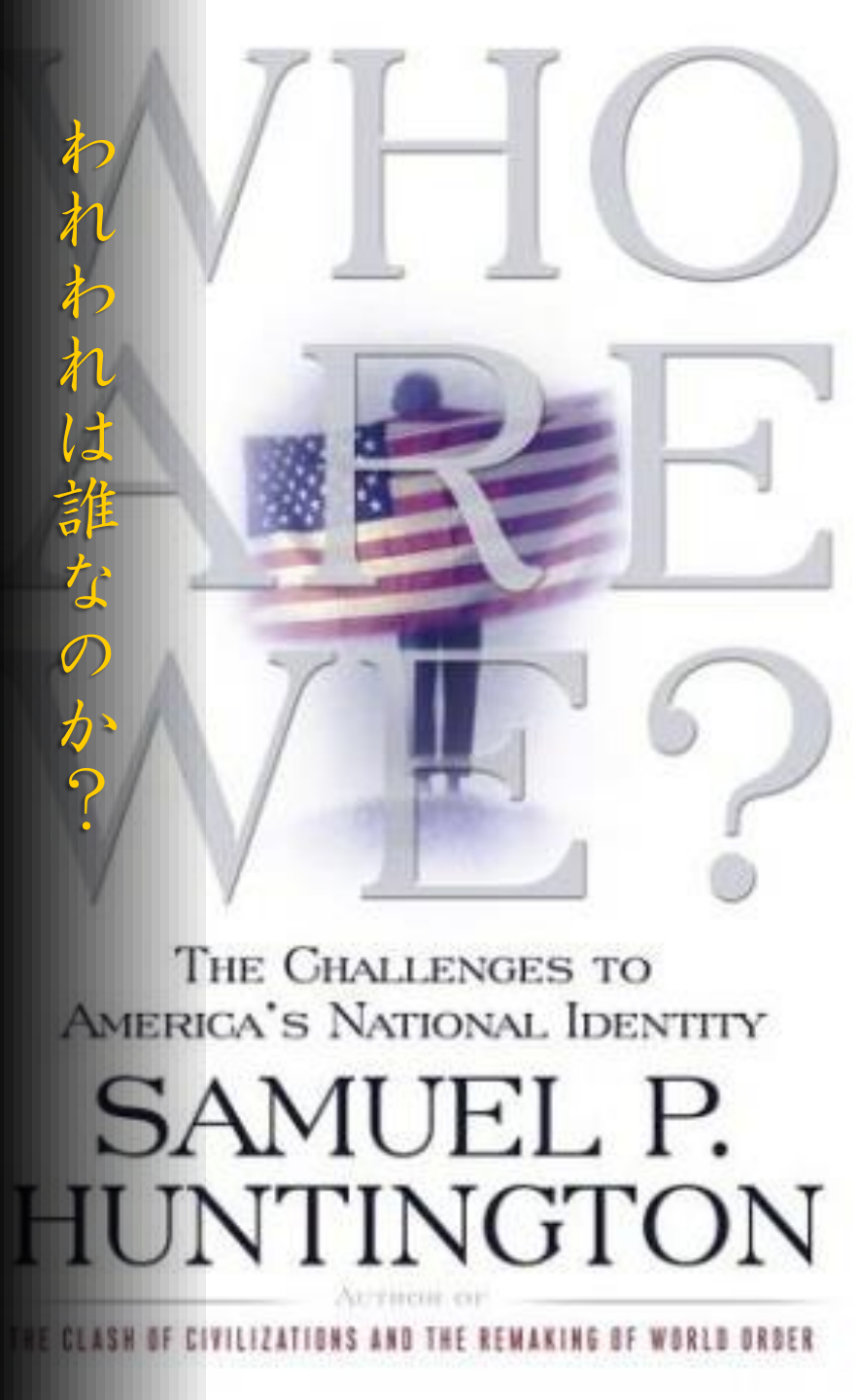


Samuel P. Huntington (1927-2008)

われわれは誰なのか？

ナショナル・アイデンティティをめぐる議論は、われわれの時代を広く一般に特徴づけるものだ。地球上のほぼどこでも、人びとは何が共通点で、何が他の人びとと自分たちをへだてているのかについて質問し、考え直し、再定義してきた。われわれは誰なのか？　われわれはどこに属するのか？

——Samuel P. Huntington: Who are we?

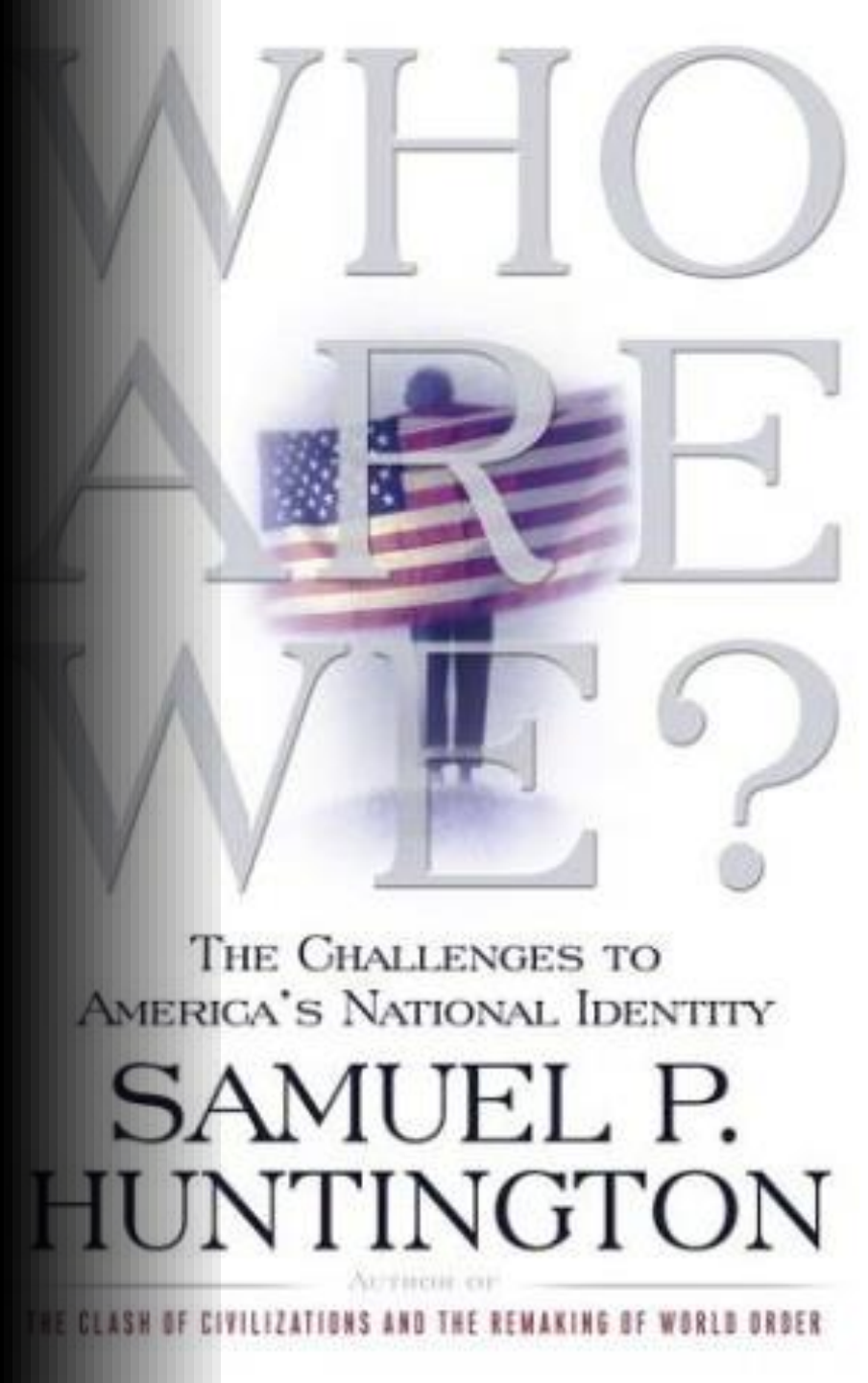


われわれは誰なのか？

日本人は地理上の位置と歴史および文化ゆえに自分たちの国がアジアに属するのか、それとも経済力と民主主義および近代性ゆえに欧米に近いのかという問題に苦しんでいる。

——Samuel P. Huntington: Who are we?

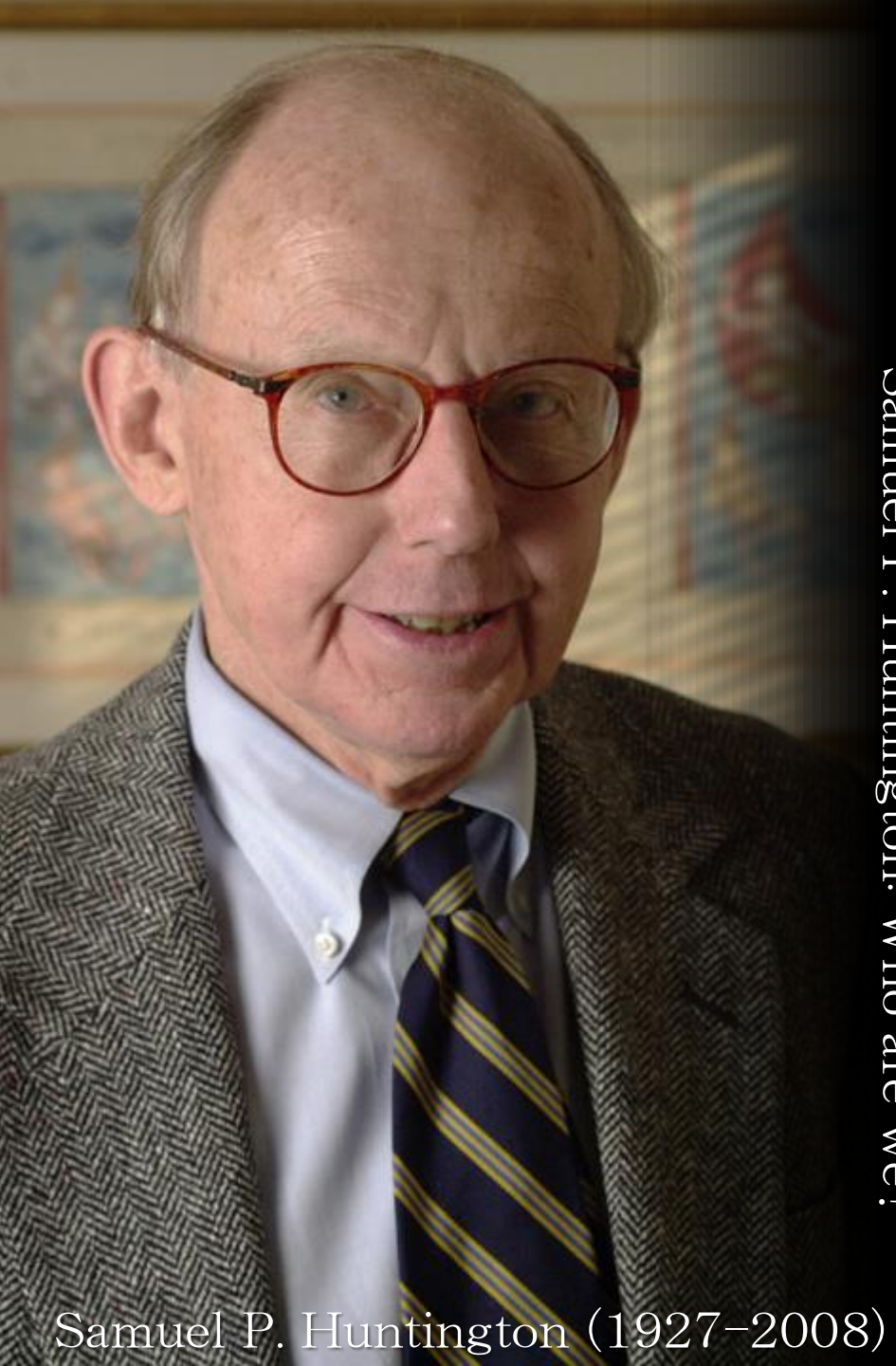
Samuel P. Huntington (1927-2008)



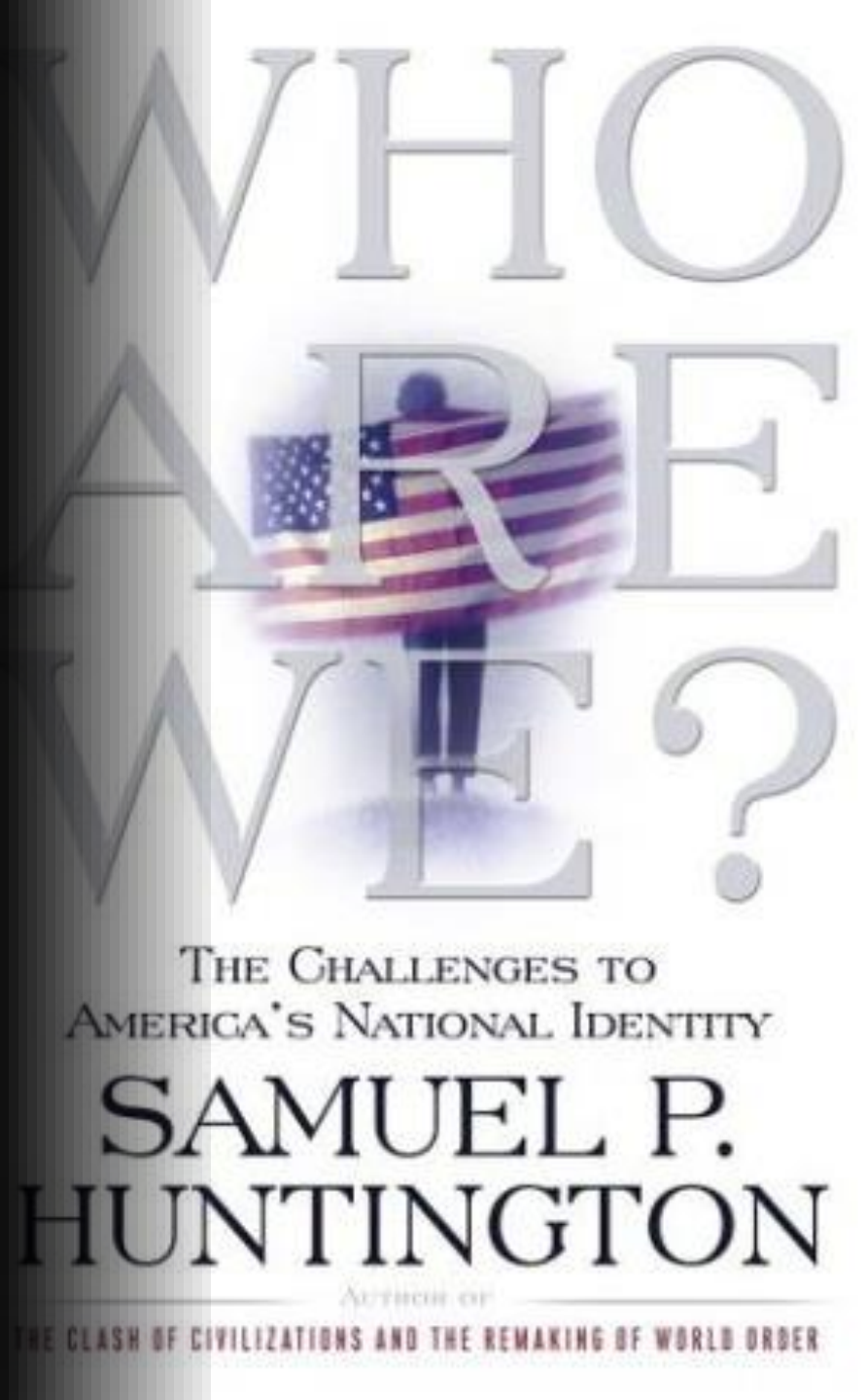
われわれは誰なのか？

中国は「ナショナル・アイデンティティの追求」をしており、一方、台湾は「ナショナル・アイデンティティの解消と再構築」に関わっているという。

——Samuel P. Huntington: Who are we?



Samuel P. Huntington (1927-2008)



まとめ

- 周の東遷の後、中国は紀元前8世紀から紀元前3世紀にかけて550年に及ぶ戦乱と下剋上の時代を迎える。春秋戦国時代である。
- 紀元前551年に魯の国に誕生した孔子は、周代の秩序ある社会を手本に戦乱の世を正そうと、五経と呼ばれるテキストを使って多くの弟子たちを教育した。
- 中国では漢代に儒教が国教となり、その後二千年にわたって中華文明の精神的支えとなった。
- 朝鮮半島では李氏朝鮮の時代に儒教が官学となり、日本でも江戸時代に儒教が正学となると、東アジアに平和で安定した国際秩序が形成された。

参考文献

- 金谷治『論語の世界』（日本放送出版協会、1970年）
- 中島敦「弟子」（中島敦全集ほか）
- 小倉芳彦訳『春秋左氏伝』（岩波文庫 1988年）